

検査結果の見方

2016年6月24日(金) 11:24 No.122428375(2016062400179)

検査項目の名前

TP	6.7~8.3	8.5 H
ALB	3.8~5.3	5.0
A/G比	1.7~2.0	1.42

左: 検査値

右: 基準値より高値ならH
低値ならL

基準値

検査結果表

TP
ALB
A/G比
T-BIL
AST(GOT)
ALT(GPT)
LDH
ALP
γ-GTP
Che
CPK
AMY
BUN
CRE
UA
T-CHO
TG
HDL-C
LDL-C

総蛋白 (TP)

肝臓・腎臓の機能や栄養状態を示します。肝・腎疾患や感染症などで異常が生ずると低値(L)を示します。

アルブミン/グロブリン比 (A/G比)

慢性炎症、肝疾患、ネフローゼ症候群、M蛋白血症などで比の値が低値(L)を示します。

AST (GOT)

肝臓、心臓、骨格筋に含まれる酵素で肝・胆道系疾患や心疾患などで高値(H)を示します。

LDH

肝疾患、心疾患、腎疾患、悪性腫瘍、悪性貧血などで高値(H)を示します(骨の成長期でも高値を示します)。

γ-GTP

肝臓や腎臓の組織内に含まれる酵素で肝疾患、胆道系疾患で高値(H)を示します(アルコールや薬物の影響でも高値を示します)。

CPK

筋肉や脳の組織内に含まれる酵素で筋肉疾患、心臓病、甲状腺機能低下症などで高値(H)を示します(基準値に男女差があります)。

尿素窒素 (BUN)

腎炎、腎不全、消化管出血などで高値を示します。また、脱水時や火傷、高タンパク食の摂取などでも高値を示します。

尿酸 (UA)

細胞の増殖や活動に生じた老廃物で痛風やアルコール多飲、肥満などで高値(H)を示します。基準値には男女差があります。

中性脂肪 (TG)

高脂血症、糖尿病、脂肪肝、アルコール多飲、肥満などで高値(H)を示します。

LDL-C

俗に悪玉コレステロールと呼ばれ、高値(H)が続くと動脈硬化を引き起こします。

アルブミン (ALB)

血液中の血清に含まれるタンパク質です。肝疾患や栄養不良などで低値(L)、脱水などで高値(H)を示します。

総ビリルビン (T-BIL)

赤血球中のヘモグロビンが壊れてできる色素で、肝疾患や黄疸で高値(H)を示します。

ALT (GPT)

肝臓に含まれる酵素で肝疾患では大切な指標となり、異常が生じると高値(H)を示します。

ALP

肝臓や骨に多く含まれる酵素で肝疾患や胆道系疾患、骨疾患で高値(H)を示します。

コリンエステラーゼ (Che)

肝炎、肝硬変、有機リン中毒などでは低値(L)、脂肪肝や甲状腺機能亢進症などでは高値(H)を示します。

アミラーゼ (AMY)

膵臓や唾液腺に多く含まれるデンプン分解酵素で特に膵炎などで高値(H)を示します。

クレアチニン (CRE)

タンパク質が分解された時にできる老廃物で腎機能の低下などで高値(H)を示します。基準値には男女差があります。

総コレステロール (T-CHO)

高脂血症で高値(H)を示し、高値が続くと動脈硬化が進みます。肝硬変、栄養失調、甲状腺機能亢進症では低値(L)を示します。

HDL-C

俗に善玉コレステロールと呼ばれ、低値(L)が続くと動脈硬化の危険因子となります。基準値には男女差があります。



主な検査の結果の見方についてあげています。

検査結果が基準値から外れていても直ちに異常とは限りません。

この表にない検査項目やご心配な点がありましたら主治医、または外来窓口にお気軽にご相談ください。

【裏面もご覧ください】

検査結果の見方

検査項目の名前	TP	6.7~8.3	8.5 H
	ALB	3.8~5.3	5.0
	A/G比率	1.7~2.00	1.42

左: 検査値
右: 基準値より高値ならH
低値ならL

基準値

ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)
血液中の電解質のバランスをみる検査で低栄養、嘔吐、下痢などで低値(L)、腎不全などで高値(H)を示します。

血清鉄 (Fe)
血液中に含まれる鉄分量で鉄欠乏性貧血などで低値(L)、再生不良性貧血などでは高値(H)を示します。

UIBC
感染症、炎症、肝疾患、低栄養状態、ネフローゼ症候群などでは低値(L)、体内の鉄が不足した状態では高値(H)を示します。

ヘモグロビンA1c (HbA1c (NGSP値))
直近1~2ヶ月間の血糖の状態を推定できるHbA1c値を調べます。高値(H)の場合は糖尿病が疑われます。

白血球数 (WBC)
感染症や炎症、白血病などで高値(H)を示します。薬剤の影響で低値(L)を示すことがあります。

ヘモグロビン (Hgb)
赤血球中に含まれるヘモグロビン量を表し、赤血球数、ヘマトクリット値と組み合わせて診断します。基準値には男女差があります。

血小板数 (PLT)
出血を止める働きを持つ血小板の量を表し、肝疾患などで低値(L)、リウマチ疾患などで高値(H)を示します。

HCV抗体
C型肝炎ウイルスへの抗体の有無を調べる検査で判定結果を陽性(+)、陰性(-)で表します。

糖
尿中に糖が含まれているかの判定結果を陽性(+)、陰性(-)で表します。血糖値と併せて糖尿病のスクリーニングとなります。

ウロビリノーゲン
弱陽性の(+/-)が正常とされており、陽性(+)の場合、肝疾患や溶血性貧血などが疑われます。

検査結果表

Na (NaClセット)
K
Cl
Ca
Fe
CRP
UIBC
血糖
HbA1c(NGSP)
フェリチン
WBC
RBC
Hgb
Hct
PLT
HBs抗原
HCV抗体
蛋白
糖
ケトン体
ウロビリノーゲン
潜血

カルシウム (Ca)
ビタミンD欠乏症、腎不全などで低値(L)、ビタミンD過剰、多発性骨髄腫などで高値(H)を示します。

CRP
炎症や組織の破壊により血中に増加するタンパク質で体内に炎症反応があると高値(H)を示します。

グルコース(血糖)
糖尿病や膵・肝疾患、内分泌疾患があると高値(H)を示します。食後は健常者でも高値(H)を示します。

フェリチン
主に血清鉄と併せて測定し、鉄欠乏性貧血などでは低値(L)を示します。基準値には男女差があります。

赤血球数 (RBC)
貧血や出血、造血能低下などで低値(L)を示します。基準値には男女差があります。

ヘマトクリット (Hct)
血液中に占める赤血球数の割合(%)を表し、赤血球数、ヘモグロビン値と組み合わせて診断します。基準値には男女差があります。

HBs抗原
B型肝炎ウイルスへの感染の有無を調べる検査で判定結果を陽性(+)、陰性(-)で表します。

蛋白
尿中にタンパク質が含まれているかを判定します。陽性(+)の場合、腎機能の異常が疑われます。

ケトン体
尿中にケトン体が含まれているかを判定します。陽性(+)の場合、糖尿病、内分泌疾患、高脂肪食摂取などが疑われます。

潜血
尿中に血液が含まれているかを判定します。陽性(+)の場合、尿路系の炎症、結石、腫瘍などが疑われます。



【表面もご覧ください】



監修: 臨床検査科 2016.8更新